



2018年8月6日

各 位

会 社 名 株式会社ムゲンエースト
代 表 者 名 代表取締役社長 藤田 進一
(コード番号：3299 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 大久保 明
(TEL. 03-5623-7442)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2018年2月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2018年12月期 連結業績予想の修正(2018年1月1日～2018年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円 銭)
前回発表予想(A)	76,284	7,959	7,222	4,639	190.45
今回修正予想(B)	53,284	4,562	3,760	2,381	97.75
増減額(B-A)	22,999	3,397	3,462	2,258	
増減率(%)	30.1	42.7	47.9	48.7	
(ご参考)前期実績 (2017年12月期)	63,568	7,122	6,478	4,276	175.61

2. 修正の理由

当社グループは、期初に計画した事業方針のもと、不動産売買事業において首都圏ドミナント戦略の推進を継続し、成長ドライバーである投資用不動産の仕入活動の強化を推進してまいりました。

当社グループの主力事業である不動産売買事業におきまして、在庫(販売用不動産)の拡充を最優先に仕入活動を行い、物件毎の利益管理を徹底した販売活動を中心に推進してまいりましたが、不動産投資家に対する金融機関の融資姿勢の厳格化等の影響もあり、投資用不動産の販売件数が伸び悩んだことに加え、投資用の区分物件販売の割合が増加したことにより、平均販売単価が想定を下回ったため、売上高及び各利益は当初計画を大きく下回りました。

2018年12月期下期におきましては、金融機関の融資姿勢の厳格化等による影響はあるものの、富裕層及び海外投資家等からの需要は継続しているため、販売価格の見直し等を行い、販売活動を一層強化してまいります。一方で、第2四半期までの販売の伸び悩みが響き、2018年12月期通期連結業績予想は下回る見込みとなりました。詳細につきましては、本日(2018年8月6日)開示いたしました「2018年12月期第2四半期決算説明資料」をご参照願います。

この結果、誠に遺憾ながら、通期業績予想を下方修正することにいたしました。当社グループといたしましては、業績回復に向けた取り組みを継続実施することにより、業績向上に努めてまいります。

なお、期末配当予想については、継続的かつ安定的な配当の維持に努めていることや経営環境等を総合的に考慮した結果、2018年2月13日公表（1株当たり30円）から変更はありません。

以 上

業績予想に関する留意事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。